

地域支援にかかるアンケート状況

1 基幹相談支援センター調査

(回答52所／54所)

○高次脳の特性に応じた支援ができる職員を配置している

・26所 (50%)

○地域に高次脳に対して紹介できる事業所はあるか

・少ないが足りている 16所 (31%)

・**不足している 25所 (48%)**

○高次脳に対する短期入所のニーズは増えると考えるか

・**増える 17所 (33%)**

・増えない 0所 (0%)

・わからない 27所 (52%)

(増える理由)

- ・家族の負担による需要増 6所
- ・高次脳機能障害者数の増 5所
- ・その他(高次脳が一般に知られることによる需要増、R5までに市町村必置の「地域生活支援拠点等」の需要 など)

○高次脳機能障害者支援センターに期待すること(複数回答)

- ・施設職員の**人材育成** 23所 (44%)
- ・施設への**専門的な相談体制**の充実 24所 (46%)
- ・本人や家族への相談支援の充実 22所 (42%)
- ・身近な相談・支援機関の設立など
地域支援ネットワークの充実 22所 (42%)

2 就労移行支援事業所調査

(回答70施設／189施設)

○高次脳の特性に応じた支援ができる職員を配置している

・25施設 (36%)

○高次脳機能障害者支援センターを知らない

・**19施設 (27%)**

○高次脳機能障害者支援センターに期待すること(複数回答)

- ・施設への役立つ**情報提供** 43施設 (61%)
- ・施設への**専門的な相談体制**の充実 28施設 (40%)
- ・身近な相談・支援機関の設立など
地域支援ネットワークの充実 22施設 (31%)

3 民間リハビリテーション病院調査(6病院に意見聴取)

○リハセンの訓練内容の認知度

- ・リハセンでの**訓練内容が分からない**ため、
患者を紹介できない 4病院

○県立施設としてのリハセンに対する期待

- ・**レベルの高いリハビリの提供**、エビデンスの構築と発信
- ・広く県民生活の再構築につながるリハビリサービスの提供
- ・相談しやすく、**リハビリに関する情報を統括する**場所であってほしい